

## 第43回大東スポーツカーニバル

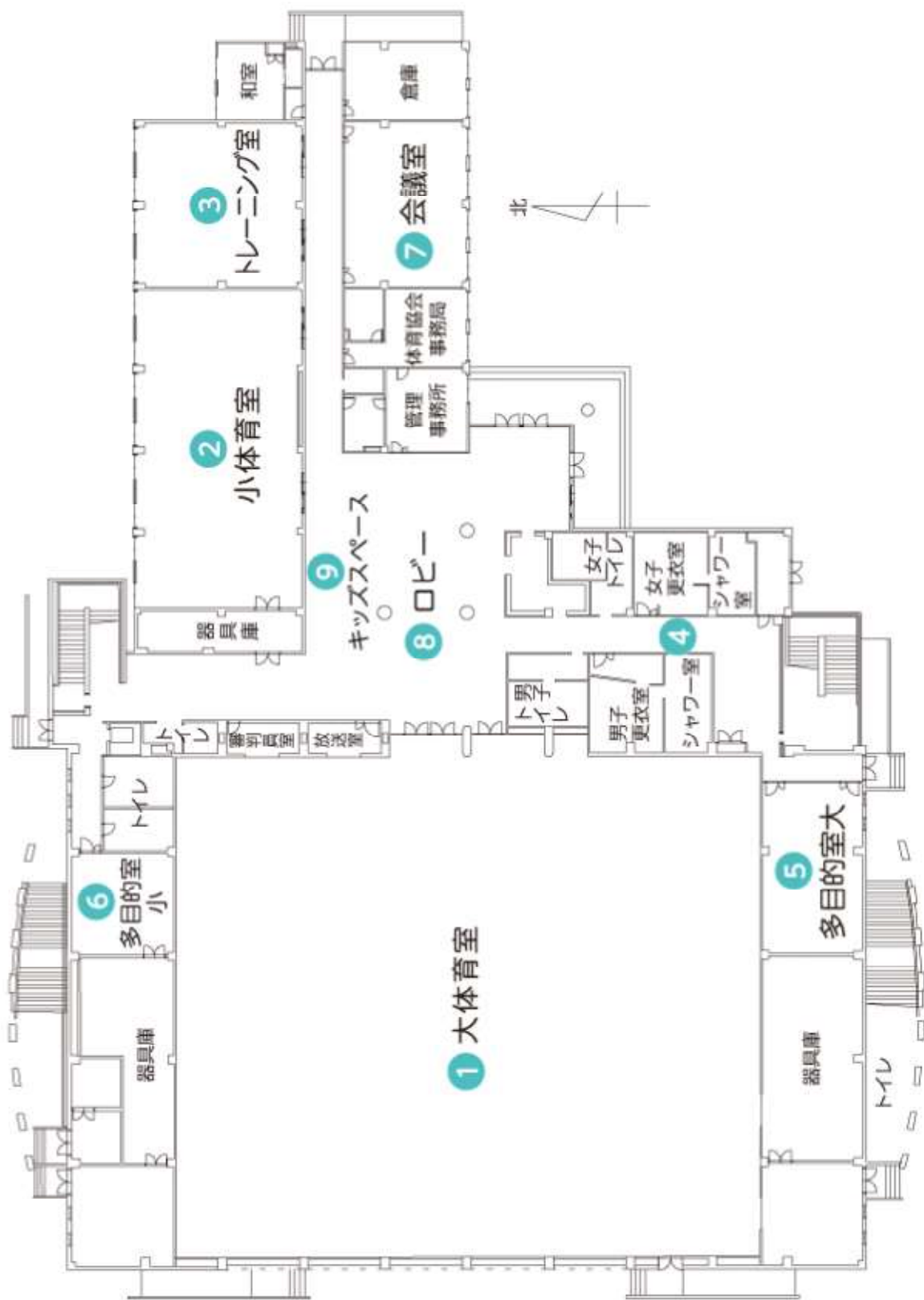
### 大 運 動 会

#### (競技別実施要領)

第1版 9月12日 作成

#### 目 次

○市民体育館配置図	.....
○スポーツカーニバル・大運動会（事業概要）	.....
1 徒競走	.....
2 綱引き（予選・決勝）	.....
3 玉入れ	.....
4 ドッチビー	.....
5 長なわとび	.....
6 大玉転がし	.....
7 パン食い競争	.....



スポーツカーニバル・大運動会(事業概要・案)

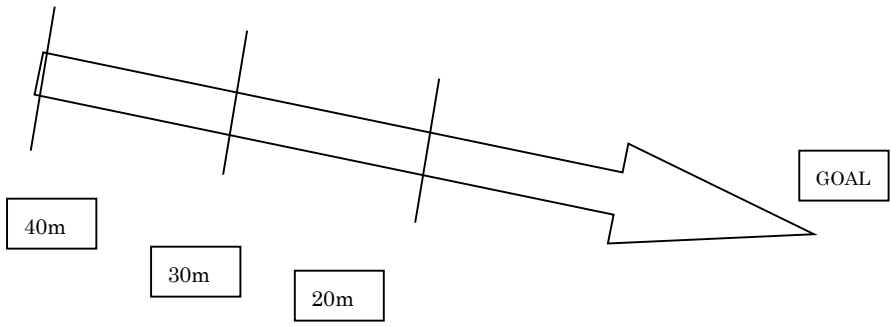
場 所 市民体育館大体育室

時 間 受付:8時30分～(開会式:午前9時～)

時間	種目		対 象	定 員	担 当
10:00	徒競走	20m	幼児の部(4歳未満) (就学前の自走可能な幼児)	100名	体育施設指定管理者、ス ポーツ振興課、スポーツ少 年団
		30m	幼児の部 (4、5歳児クラス)		
		40m	小学生の部 (1・2年、3・4年、5・6年ク ラス)		
10:30	綱引き		1チーム:10名	8～12 チーム	体育協会(卓球、ソフトテニス)
11:15	ドッチビー		希望者		子ども育成連絡協議会・体育協 会(5名)
12:00～ 13:00	【 昼 食 ・ 休 憩 】				
13:00	玉入れ		幼児以上(1チーム:20名以 上)	4チーム 程度	体育協会(バドミントン・テ ニス)
13:30	長なわとび		1チーム10名	15チーム	体育協会(ソフトボール、 バスケットボール)
14:00	大玉転がし		1チーム10名	10チーム 程度	体育協会(剣道、柔道、空手道)
14:30	パン食い競争		全員	300名	子ども育成連絡協議会
15:00	終了				
終了後	閉 会 式 ・ お 楽 し み 抽 選 会				

## 令和5年度スポーツカーニバル・大運動会（競技別実施要領）

### 1 徒競走

競技名	徒競走
日時	10月9日(祝・月) 午前10時00分～
参加対象 〔100名〕	<input type="radio"/> 20m 幼児の部（4歳未満・就学前の自走可能な幼児） <input type="radio"/> 30m 幼児の部（4, 5歳児クラス） <input type="radio"/> 40m 小学生の部（1・2年、3・4年、5・6年クラス）
賞品	全員
準備用具	室内用ピストル、ゴールテープ、順位ポール（1～5位）
競技内容	<p>○すべて直線（ゴールは同じ、距離によりスタート位置を変更する）</p> <p>○基本は、4～5人を1組として行う。</p> <p>○ 進行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに召集（入退場場所。以後、前のグループ開始時に召集）</li> <li>・参加者が入退場場所に集合後、各待機場所に移動</li> <li>・横5人ずつに並んでもらいその場で待機（待機場所は下図参照）</li> <li>・1組ずつスタート位置へ（召集案内、誘導、スターターは〇〇が行います）</li> </ul>  <p>○ 1名</p> <p>○ カウント担当：5名（順位決定：5名）</p> <p>○ 順位集計担当：1名</p>
備考	ゴールテープ係りのお手伝いをお願いします。

【担当：体育施設指定管理者、スポーツ振興課、スポーツ少年団】

## 2 綱引き

競技名	綱引き(団体対抗) 予選・決勝
日時	10月9日(祝・月) 10:30
参加対象	参加1チーム:10名 参加者総数:8~12チーム(最大120名)
賞品	1位のみ
準備用具	綱引き用綱(室内専用)、室内用ピストル、タスキ最低4本、コーン8本(待機場所)、笛4個以上、ストップウォッチ4個
競技内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 徒競走開始時に状況に合わせて種目集合場所にて集合の放送呼びかけ(予選)</li> <li>・ 大玉転がし開始時に状況に合わせて種目別集合場所にて集合の放送呼びかけ(決勝)</li> <li>・ 3チーム4組に分かれて3ゲームの総当たり</li> <li>・ 集合場所から競技場所に2組誘導。1組はコーン設置場所にて待機(予選)</li> <li>・ ロープ左右に互い違いに並ぶ</li> <li>・ 片方のチームの先頭がタスキをかける。綱は、実行委員会で用意の綱を使用</li> <li>・ あらかじめ綱の中心(センターマーク)とに印を付け、グラウンドにも中心線(センターライン)と中心から左右1mに線(勝敗ライン)を引き、センターマークと勝敗ラインが重なった側を勝ち、もしくは制限時間内に勝敗ラインと重なわない場合は、センターラインと勝敗ラインの自陣ゾーンにセンターマークがある方の勝ちとする。</li> <li>・ 競技開始             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 綱引きポジションをとり、両足を地面に付けたままロープを握る</li> <li>② ロープがピーンと張られ、十分な張りが確保されるようにする</li> <li>③ 審判はロープをセンターに合わせる</li> <li>④ センターマークがセンターラインと一致したことを両チームに知らせる</li> <li>⑤ 適当な間をとり、センターマークが静止していることを確認して、審判は手を挙げてスタート担当者に準備 OK の合図を送る</li> </ol> </li> <li>・ スタート(ピストル)の合図で一斉に競技を開始する</li> <li>・ 制限時間1分30秒。</li> <li>・ 1位のみ決勝トーナメント進出(同率1位の場合抽選で決める)</li> <li>・ 予選は1回勝負。準決勝・決勝は陣替えの2回(交替時、両チームタッチして陣替)</li> <li>・ 準決勝後3位決定戦を行ってから、決勝を行う</li> </ul>
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般男性、女性、小学生別に10人のメンバーを確認する</li> <li>・ ハンディはなし。</li> <li>・ 審議事項が発生した場合、担当団体に決める</li> <li>・</li> </ul>
備考	△ ○○○○○○○○○○○——○○○○○○○○○○ △

担当:大東市体育協会(軟式野球・卓球・ソフトテニス)】

### 3 ドッジビー

競技名	ドッジビー
日時	10月9日(祝・月) 午前11時15分～
参加対象 〔12チーム〕	○ 小学生以上（1チーム：7名以上10名以下） ○ 12チームまで
賞品	1位のみ
準備用具	公式ディスク2個、審判笛2個、バインダー2個、スコアカード、筆記用具
競技内容	① 1ゲーム5分とし、内野の残り人数が多いチームの勝ちとする。 ② コートごとの対戦とし、審判員は市こ連理事が行う。 ③ チーム毎のエントリーしている場合はそのチームで参加し、個人でエントリーしている人は主催者側にてチーム編成を行い、10人ずつを基本とするが、端数の人数の場合、最小7名のチームを編成する。 ④ 基本的にドッジボールと同様のルールであるが、『ディスクドッジ』ルールに沿って行う。 ⑤ 外野の人が相手内野をアウトにすると内野に入れる。 ⑥ 敗者チームは時間があれば、再度ゲームに参加できる。
備考	

【担当：大東市こども会育成連絡協議会】

## 【説明分】

バレーボールのコートを利用して、ディスクを利用したドッジボールを行う競技です。  
最終的に内野に残った人数を競います。

## 用 具

公式ディスク

## ゲーム方法・ルール

1. 1チーム7~10人
2. ディスクフリップにより、最初の攻撃権とフィールドの再度を決定する。
3. 各チーム、内野・外野に1名以上を配置する。
4. 審判の合図で攻撃権を持ったチームからスローを行う。
5. 内野の人がスローされたディスクに触れ、ディスクが地面に落ちた場合、アウトとなり、外野へ移動する。  
アウトにしたスローをした人が外野の場合は、内野へ移動できる。
6. 移動する人の影響で、相手チームが不利となるプレーの場合、そのプレーはやり直しとする。
7. ディスクが地面で静止の状態となった場合は、そのコート側のチームの権利とする。  
また、ライン上で静止した場合は、最後にディスクに触れたチームの権利とする。
8. 動いているディスクは、自分のコート内で拾えばそのチームの権利となる。
9. 同時にキャッチした場合、その直前にディスクに触れたチームの権利となる。
10. 内野の人がいなくなるか、5分が経過したらゲーム終了とする。
11. ゲーム終了時に内野の人数が、多いチームの勝利とする。内野の人数が同一の場合、ディスクフリップにより攻撃権を決定し、ゲームを再開し最初にアウトを取ったチームの勝利とする。
12. プレー中のファールについて
  - (ア) チームメンバー間での手渡し・キックのパスはファールとする。
  - (イ) チーム内の内野同士のパスはファールとする。
  - (ウ) チーム内の外野同士でコートラインを2本通過しないパスはファールとする。
  - (エ) ディスクを投げる際、ラインを越えたり、踏んだりしたら、ファールとする。
  - (オ) ディスクをキャッチする際、ラインを越えたり、踏んだりしたら、ファールとする。
  - (カ) 意図的に自分のコートから出て待機したら、ファールとする。
  - (キ) ファールが発生すると、ディスクの権利は相手チームに移る。

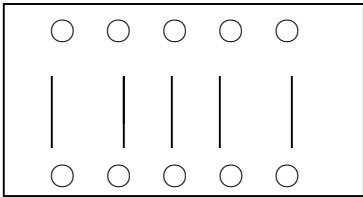
#### 4 玉入れ

競技名	玉入れ
日時	10月9日(祝・月) 午後1時～
参加対象 〔4チーム程度〕	○ 幼児以上（1チーム：20名） ○ 4チーム程度
賞品	1位のみ
準備用具	玉入れセット（体育施設指定管理者）、カラーコーン2個（並ぶ目安として）、養生テープ（列の先頭として）、ストップウォッチ、机2台（高低差を付けるため）
競技内容	<p>① 綱引き終了後、種目集合場所にて集合の放送をする。</p> <p>② 競技の総時間を20分程度、トーナメント方式とし、総回数10回程度とする。</p> <p>③ 参加者を年齢性別問わず2列に並ばせ、10～15名ずつ（参加者の人数により変動）競技に送る。</p> <p>④ 30秒間玉入れをし、入った数の多い方が勝ちとする。</p> <p>⑤ 玉の数は、各試合終了後、アナウンサーの発生に従って、審判が行う。</p> <p>⑥ 高さは、大人、子どもに関係なく、一律の高さで行う。</p> <p>⑦ 時間内、何度参加してもよい。</p> <p>⑧ ハンディーについては、距離1m50cmの円の外から大人は投げて、子どもは円の内から投げる（あらかじめ、円を描いておく）。</p> <p>⑨ 第1～3各試合後、玉を適宜カゴの周りにバラスこと。</p>
備考	

【担当：大東市体育協会（バドミントン・テニス連盟）】



5 長なわとび

競技名	長なわとび
日時	10月9日(祝・月) 午後1時30分～
参加対象  〔10チーム程度〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参加：1チーム6名、総計：15チーム</li> <li>○ 5チームずつ3回（跳ぶ人：4名、回す人：2名）</li> </ul>
準備用具	長なわとび：5本（体育館備品）
競技内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6名程度で1チームとし、時間内に連続で跳べた回数が一番多いチームが勝ちとする。</li> <li>○ 笛の合図で2分間回して、跳び、引っ掛ければ、一から数え直し、一番多く跳んだ回数を申告し、順位を決める。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スタート笛：1名</li> <li>○ カウント担当：5名（順位決定：5名）</li> <li>○ 順位集計担当：1名</li> <li>○</li> </ul>
備考	

【担当：大東市体育協会（ソフトボール・バスケットボール連盟）】

6 大玉転がし

競技名	大玉転がし
日時	10月9日(祝・月) 午後2時～
参加対象	参加1チーム:10名 総チーム:12チーム(120名)
賞品	一位のみ
準備用具	大玉4個、周回用大コーン8本、室内用ピストル
競技内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋の部開始時に種目集合場所にて集合の放送呼びかけ</li> <li>・ 1チーム10人が2列5人として並ぶ</li> <li>・ 参加者は、本部席前を通過して南側で整列</li> <li>・ 1組ごとに競技会場にでる。他のチームは種目待機場所にて待機</li> <li>・ 3組4チームごとに競い、予選(12⇒3)、決勝3チームで順位を決める</li> <li>・ 2名ずつ、大玉を転がして1往復交代、全員で5往復をして勝敗を決する</li> <li>・ 2人1組で折り返し地点までを往復</li> <li>・ 構成人数に不足が生じた場合、同じ者が2往復しても可</li> </ul>
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハンデなし</li> <li>・</li> </ul>
備考	

【担当:大東市体育協会(剣道・柔道・空手道)】

7 パン食い競争

競技名	パン食い競争
日時	10月9日(祝・月) 午後2時30分～
参加対象	○参加：1回：5名、2本(交互)×30回  〔300名〕
準備用具	パン300個、ピンチにはさんだ竿(2本)、スタート笛
競技内容	<p>○ スタートし、通過ポイントで吊るしてあるパンを手を使わずに口でくわえてゴールに向かう。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>○ スタート笛：1名                  ○ パン吊るし作業担当：3名                  ○ 竿持ち担当(2本×2組)：4名</p>
備考	

【担当：市こども会育成連絡協議会】